

京のセントラルパーク、歴史と自然のストック
京都御苑の魅力を発信

京都御苑



NEWS

Kyoto Gyoen
National Garden
News

spring
春

第141号
2019.3.1

京都御苑ニュース

CONTENTS

- ▶ 新・中立売休憩所オープン
- ▶ 虫眼・鳥眼…そして観るための眼
- ▶ 苑内利用者の声
- ▶ 学生コラム ー京都府立大学ー
- ▶ Information



京都御苑・中立売地区に整備された新休憩所（レストラン『檜垣茶寮』）

新・中立売休憩所オープン

—京都御苑中立売地区再整備事業のあらまし—

環境省が二〇一七年から進めてきた「京都御苑中立売地区再整備事業」がいよいよ終盤を迎え、まもなく完了の運びとなる。本事業の中核として六十八年ぶりに新たに建て替えられた「中立売休憩所」は本年二月に先行して開業した。新休憩所を含む再整備事業の目的、「コンセプトや事業の概要等について、環境省京都御苑管理事務所の廣瀬勇二所長に伺った。

廣瀬勇二

中立売地区再整備事業の一つとして実施しています中立売休憩所の再整備工事が終わり、平成三十一年一月九日に営業を開始しました。

中立売休憩所がある中立売地区は、京都御苑の西部に位置し、京都御所の参観入口の清所門や桂離宮等の参観手続き窓口となっている宮内庁京都事務所に近い場所であることから、休憩所や駐車場などを整備しています。また、葵祭や時代祭の際にも、外国人を含む多くの観光客で賑わう苑内最大の利用拠点です。

近年、休憩所や駐車場の老朽化、動線の不明確さによる利用上の支障等が見受けられてきたことから再整備を進めることとし、多様な利用を想定し、活用方針を整理のうえ、誰もが安心して快適な利用ができる空間の創出を目指すとともに、景観や自然環境との調和、ユニバーサルデザインや情報発信の場として再整備

を進めました。

工事は国土交通省により、休憩所
の他、駐車場管理棟、駐車場、駐輪
場、バリアフリー苑路を再整備する
とともに、旧休憩所に隣接していた
中立売北トイレの改修を行いました。
本事業の核になる新しい中立売休
憩所の建築コンセプトは、「伝統的
な日本建築」を取り入れ、その特徴
が瓦葺きの大屋根や深い軒、屋内に
広がる折板天井などに表れていま

す。テラスや屋内の机と椅子は苑内
で伐採されたケヤキを活用したもの
で、その木目からは御苑の地に長く
根を張っていた歴史を感じていただ
けると思います。また、旧休憩所と
同じく、休憩スペースや食堂、土産
物売店、コインロッカー等の利便機
能を備えるとともに、壁面に設けた
情報展示コーナーにより、苑内の施
設や自然、イベントなど総合的な情
報を発信します。



軒下のテラス席

駐車場管理棟には、利便性の向上
や催事における混雑の解消につな
がるように、男子・女子及び多目的ト
イレを併設しています。

新たな試みとして、駐輪スペース
を休憩所及び駐車場管理棟の周辺に
四箇所設けました。駐輪場への誘導
案内や駐輪ルールの周知に努め、快
適な利用の実現につなげたいと考
えています。

今回の再整備を機に、京都御苑全
体のサービス向上を意識し、京都御
苑がさまざまな利用者の方々の憩い
の場として、快適な利用環境を整
え、従前にも増して親しまれる国民
公園の実現に努めてまいります。

なお、休憩所は工事が完了しオー
プンいたしました。駐車場の外構
工事等、中立売地区全体の工事完了
は三月末を予定しております。ご利
用にご不便をおかけしますが、ご理
解をいただきますようお願いを申し
上げます。

(環境省京都御苑管理事務所所長)



休憩所内より林間越しに京都御所を望む

草木や生きものが語りかけていること
未来を担う子どもたちへ

虫眼・鳥眼：
そして観るための眼

河合嗣生



樹林を見上げると樹々の話が聞こえてきそう

す。それぞれの担当は草眼、キ
ノコ眼、虫眼、鳥眼を持っ
ています。これは観察対象との間
に生まれる「観るための眼」察
知する感覚」のことをさします。

この自然教室でおなじみの野
鳥研究者・西台律子先生と森を
歩く時、私が葉に止まる一匹の
虫を見つけ「ほらそこに！」と
言うと、先生はなかなか見つ
けられない。なぜならば私の指
差す先よりもはるか遠くのあた
りを探されているのですから。ま
たこの逆もあり、これは大変に
面白い出来事です。どうも虫
眼・鳥眼では見る対象物の距離
感や大きさが違うようです。



頭隠して尻隠さず(ツヤアオカメムシの越冬)

森を歩いているとさまざまな
虫や鳥の気配を感じます。それ
は樹冠の鳥であったり、葉裏の
小さな虫であったり、なにげに
見る風景の片隅にいきものの姿
が入ってきます。このような場
面で「よく見つけられますね」
と感心されます。こんな時は
「虫眼ですから」と答えるよう
にしています。

京都御苑の自然教室では、担
当講師が参加者の方々に植物・
キノコ・昆虫・鳥の解説をし

学生コラム

花霞を愛でる

京都府立大学大学院国文学中国文学専攻D1

担当教員：藤原英城 畠山 紗季

京都御苑、間之町口を入ってすぐの拾翠亭は、五摂家の一つである九條家の邸宅跡です。中でも平安末の公卿、九条良経は政治の手腕のみならず歌人としても著名です。後鳥羽院や藤原定家と交流があり、歌壇の中核を成す存在として多数の歌会や歌合に出詠し、新古今時代の高雅な歌風を築き上げました。そんな彼の詠んだ春の歌「さくら花うつろはむとや山の端のうすくれなゐにけさはかすめる」を取り上げてみましょう。当時のお花見は現代のように桜を近くで見ることはしません。遠くの山に咲いている桜を邸宅から眺めることがほとんどでした。桜がもう散りかかっているのだろうか、山の端が薄紅に霞んでいる—この歌は『千五百番歌合』において判者に「すがたこころたかく又色ありても見え侍るにや」と賞賛されています。時には遠くの山に咲く桜を眺めるのもまた一興かもしれません。



拾翠亭



「お父さん、僕たちはどこにも行きたくない!!」と息子たち。
「君たちがいつも遊んでいる御苑は、世界中の人があこがれて、いつか行ってみたいと思っている場所や
で、そんなところで遊べるのは、君たちは幸せやね!」と私。
当時、小学生になるとクラスの子どもたちの内、何人かは海外旅行に行く時代になってきていました。海外の見たこともない、聞いたこともない話に触れ、行ってみたいと思うのは、子どもたちにしたら当たり前の話。でも、私は、病院を離れるこ

とができず、子どもたちとの遊びはもっぱら御苑。広くて、安全で、自然がいっぱい。そんな場所がすぐそこにある環境はなかなか得難いものですが、子どもたちが理解するのは、少し先の話。
そして二十年後、そんな御苑には、彼らの子どもや『御所の杜はいくえん』の園児たち百二十名がいつもいます。「御苑が遊び場」という暮らし、その良さがわかり、いつか帰ってきたと思うようになるのは、京都で育った者の遺伝子のなせる業かもしれません。
(医療法人財団足立病院院長・社会福祉法人あだち福祉会理事長)



苑内利用者の声

御苑は園の遊び場

畑山 博



ここにも不思議が(小さなクモの仲間)

さて私が小学生の頃、自然観察のフィールドがいくつかありました。その一つの大文字山・南禅寺・疏水・鴨川・京都御苑へ至るコースは、琵琶湖疏水と東山が創る「生態的回廊」エコロジカル・コリドー、そして「生きものを追う少年達の回廊」であつたと思います。フィールドで過ごす時間のなかで無意識に生きものを察知する感覚が身に付き、またそれと同時に身を守ることも、つまり危険を察知することも覚ええました。
私の子ども時代とは違い現代では、知りたいことの多くが現場に行かなくても、つまり暑さや寒さも関係なく、しかも安全な場所でインターネットによって得ることができるようになりました。しかし本当に大切なものは「森を見れば生きものが判る、生きものを見れば森が判る」的な感覚ではないでしょうか。それはインターネットではとうてい得る事ができない感覚、「ど



森に映える不思議な色(ヤブミョウガの実)

最後に皆さんに伝えたいこと。子ども達へ「京都御苑の森でいろいろな体験をしてくださいます。それはあなたの一生の宝物になります」。おとな達へ「子ども達にいろいろな自然体験をさせてあげてください。それはあなたの楽しみにもなります」。

(京都自然観察学習会)

■イベントのお知らせ

京都御所の通年公開・仙洞御所の参観

京都御所では、事前申込不要の通年公開が行われています。仙洞御所も事前申込に加えて当日受付にて参観可能な場合があります。

公開日：通年、ただし月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始、行事等の実施のため支障のある日は休み。

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都迎賓館一般公開

日本の歴史・文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくための国の迎賓施設です。

公開日：迎賓館ホームページでご確認ください。

観料金：大人1,500～2,000円 大学生1,000円～1,500円
中高生500～700円

お問合せ：迎賓館京都事務所 ☎075-223-2301

御即位30年記念 京都御所特別公開

天皇陛下の即位30年を記念して、京都御所の特別公開が実施されます。明治天皇の即位式で使用さ

れた木造の獅子狛犬像が初公開される他、明治～平成の即位礼パネルなども展示されます。期間中は雅楽や蹴鞠、管絃の実演なども行われる予定です。

公開日：3月12日（火）～21日（木・祝）

入場は9:00～15:50

お問合せ：宮内庁京都事務所 ☎075-211-1215

京都御苑春の自然教室

日時：2019年4月21日（日） 9:30～12:00

受付：9:00～9:20

集合：乾御門（御苑北西地下鉄今出川200m）



講師：京都自然観察学習会の先生方

内容：春の御苑の植物、キノコ、昆虫や野鳥の生態を観察します。

参加費：100円（保険代）

主催：環境省京都御苑管理事務所
（一財）国民公園協会京都御苑

その他：筆記用具、雨天、水筒の準備、野外活動に適した服装でご参加ください。

*当日7:00時点で大雨、暴風警報が発令されている場合など、やむなく中止する場合があります。

新緑のトンボ池一般公開

普段は立入りを制限している「トンボ池」を公開します。散策の折にお立ち寄りください。（雨天中止）※捕虫網や三脚の持ち込みはご遠慮ください。

日時：2019年5月24日（金）～26日（日）

9:30～15:00（24日は12:00まで）

場所：京都御苑内トンボ池（富小路北東へ徒歩5分）

参加費：無料

主催：環境省京都御苑管理事務所
（一財）国民公園協会京都御苑

その他：野外活動に適した服装でご参加ください。



■苑内利用施設・サービスのご案内

閑院宮邸跡収納展示館

京都御苑南西角の旧閑院宮邸跡地に建つ公家屋敷の風格残る旧宮内省建物の遺構。収納展示室では京都御苑の歴史や自然が学べます。（無料）



床みどり

開館時間：9:00～16:30（入場は16:00まで）

休館日：月曜日（祝日は開館）、年末年始

アクセス：問ノ町口すぐ（御苑南西角）

拾翠亭（茶室）

五摂家の一つであった九條家の遺構で江戸時代後期に建てられた九條家別邸。

公開日：毎週木・金・土曜日、葵祭、時代祭 9:30～15:30 観料 100円（高校生以上）

貸切利用：茶会、句会、謡曲等の会合にご利用できます。利用料については協会ホームページをご覧ください。

休憩所（レストハウス・売店）

休憩やお食事・喫茶にご利用ください。

営業時間：9:00～16:30

中立売休憩所（レストラン『京都御苑 檜垣茶寮』）

中立売御門北側に2019年1月9日新規オープン。中立売駐車場に隣接し、京都御所参観へのアクセスは抜群で

す。無料休憩スペースの他、併設するレストランではセットメニューから軽食、カフェまで木の香る落ち着いた雰囲気の中でお食事ができます。売店『檜垣』では、御苑限定のオリジナル商品を多数取り揃えています。また、KYOTO Wi-Fiが無料で利用できます。

富小路休憩所（御苑南東富小路口すぐ、テニスコート隣接）軽食・喫茶、菓子等の販売。

駐車場

料金：乗用車500円 バス1,300円（最初の3時間）

*4月1日より、新料金へ改定を予定。

中立売駐車場（乗用車、バス）

入場 7:40～19:30 出場 24時間

—中立売駐車場再整備工事のお知らせ—

工事に伴い、3月下旬まで駐車スペースが縮小されています。ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

清和院駐車場（乗用車専用）

入・出場 8:40～20:00（20:00以降閉鎖）

運動施設

富小路テニスコート（5面）有料

富小路広場（6面）／**今出川広場**（3面）有料
軟式野球・ソフトボールなどにご利用ください。

申し込み：（一財）国民公園協会京都御苑

京都御苑さくらマップ



御苑の花暦

2月	3月	4月	5月
	モモ（桃林）	3月中旬～4月中旬	
	イトザクラ（近衛邸跡周辺）	3月下旬～4月中旬	
	ヤマザクラ（苑内全域）	3月下旬～4月中旬	
	サトザクラ（出水の小川付近）	4月上旬～4月中旬	

京都御苑Instagram／Twitterで最新の情報をチェック！



@kyotogyoen_info



@gyoen_info

会員募集（2019年度）のお知らせ

2019年度（2019年1月～12月）の国民公園協会京都御苑会員を募集します。

■年会費

●普通会員……………1,000円以上

●賛助会員（会社・団体）

……………10,000円以上

■会員特典

- 1 京都御苑ニュースの送付
- 2 葵祭及び時代祭の観覧席招待券の進呈（ただし普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。）

■申し込み・お問合せ先

（一財）国民公園協会京都御苑



編集後記

新装御苑ニュースになって、4度目の春。天皇陛下のご退位、新天皇のご即位、平成から新元号への改元と大きな節目を迎える。京都御苑の桜、新緑を愛でながら新休憩所にお出かけ下さい。（発行人 池田善一）

企画・発行／お問合せ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
〒602-0881 京都市上京区京都御苑3
TEL 075-211-6364

編集

白川書院

監修

環境省京都御苑管理事務所



当誌は全ページ再生紙を使用しています